



## 4月9日、2023 統一自治体選挙の結果 静岡市長には「なんばたかし氏」が初当選

2023年統一自治体選挙前半戦の静岡市長、静岡県議会議員選挙の投票が4月9日に行われ、即日開票がされました。静岡県勤労者協議会は1月13日の幹事会で『反戦・平和と静岡県議会議員選挙の闘いに勝利しよう！』を合言葉に、具体的には「立憲野党の勢力拡大」に向けて取り組む方針を決定しました。

具体的には、県勤労協として『応援する県議会議員候補者』を勤労協ニュース3月号で紹介してきました。なお、静岡市長選挙に関しては、清水勤労協が3月7日に開催した学習会に、立候補予定の「難波喬司氏」（前静岡県副知事）に清水区の再生の構想を聞く機会を設定するなどの取り組みも展開してきました。

上記の取り組みや、『静岡市長選の情勢』等を考慮した結果、静岡市勤労協は「なんばたかし氏」を推薦することにしました。

静岡市長選挙は、元副知事難波喬司氏＝（自民、公明、立民、国民）が、元県議の山田誠氏、共産党の鈴木千佳氏を破り、初当選しました。

### ◆ 静岡市長選挙の投票結果

当選 なんば たかし 無新 149,117 票

山田	誠	無新	80,829 票
鈴木	千佳	共新	27,197 票



## マスコミは県議選挙の焦点は「51 議席の攻防」 清水勤労協は立憲野党の2名を推薦決定

マスコミ各紙は、県議会議員選挙が告示された3月31日以降は「県議会議員選挙の焦点は『不信任決議に必要な51議席の攻防』か」と、報道していました。この51議席を「1議席でも減少させること」が立憲野党の勢力拡大につながることから、清水勤労協では、『定数4名に対して立候補予定者が5名』という状況下の時、立憲野党候補2氏を推薦して闘うことを決定しました。

具体的な取り組みは、「不信任決議に必要な51議席の攻防となっているので、何としましても自民党の清水区における2議席当選を阻止しなければならない。その為には、立憲野党である中山候補（国新）と松井候補（無新）の2名を当選させることが必要である。従って、清水勤労協の方針を加盟労組が理解して頂き、各労組の最大限の協力を」と、訴えて選挙戦へ突入しました。

その結果、国民民主の新人である中山真珠さんと無所属新人の松井ゆうすけさんの2名を当選させることができました。上記の勝利によって、県議会会派である『ふじのくに県民会議』へ参加することができました。なお、選挙結果と県議会会派構成は別頁に記載してありますので参照してください。

◆ 静岡県議会議員選挙

◇清水区◇ 定数 4-5

当選	望月香世子	自現	28,883 票
当選	盛月寿美	公現	16,608 票
当選	中山真珠	国新	14,428 票
当選	松井優介	無新	13,965 票
	伊藤高義	自新	10,987 票

## 反原発・反戦・反軍拡・護憲を大きな柱に 駿河区では「杉山あつし」が奮闘して再選

静岡市駿河区は、定数 4 に対して 5 名が立候補する激戦区となりました。具体的には自民は 2 名の現職、公明は 1 名の現職、立憲は杉山あつし（自治労）が 2 期目の挑戦、そして維新の会からは新人が立候補しました。

選挙戦では「自民現職の 1 名と公明現職の 1 名が優勢で、残りの 2 議席を 3 人で争う激戦となっている」とのマスコミ報道がされました。告示以降は、『反原発・反戦・反軍拡・護憲を大きな柱にして闘っているの「杉山あつし」だけである』ことを前面に打ち出して、街頭演説・個人演説会をはじめ多くの有権者に訴えてきました。

更に、防衛費の増額問題は「福祉の切り捨てにもつながることや、逼迫している医療現場を改善させることを優先すべきだ」、「岸田内閣は原発汚染水を海洋投棄しようとしているし、福島原発事故を風化させて再稼働しようとしている」、「岸田政権に対しては国民の大きな反対の声を上げていこう」と、街頭演説・個人演説会などで主張してきました。

その結果、前回選挙よりも「新しい支援者」を集めることもでき、得票数も約 3000 票を上乗せして勝利することができました。

◇駿河区◇ 定数 4-5

当選	相坂摂治	自現	16,779 票
当選	杉山あつし	立現	15,172 票
当選	牧野正史	公現	14,957 票
当選	佐地茂人	自現	13,411 票
	岡本晃一郎	維新	10,985 票

(写真右：静岡新聞 2023.04.11 より)



### 勤労協推薦候補の投票結果 (当・は当選)

応援いただいた皆様、ありがとうございました

☆ 廣田 直美	函南町 現職	☆当・曳田 卓	沼津市 現職
☆当・伴 卓	富士市 現職	☆当・四本 康久	富士宮市 現職
☆当・中山 真珠	静岡市清水区 新人	☆当・松井ゆうすけ	静岡市清水区 新人
☆当・杉山 あつし	静岡市駿河区 現職	☆当・小長井よしお	静岡足葵区 現職
☆当・佐野 愛子	藤枝市 現職	☆当・伊藤 和子	袋井市 現職
☆当・沢田 智文	磐田市 現職	☆当・田中 照彦	浜松市中区 新人
☆当・鈴木唯記子	浜松市中区 新人	☆ 丸山 洵	浜松市東区 新人
☆当・田口 章	浜松市西区 現職	☆当・良知 駿一	浜松市北区 現職
☆当・阿部 卓也	浜松市北区 現職	☆当・田内 浩之	湖西市 現職

# 県議会会派構成を巡り 51 議席をめぐる攻防が激化

編集者が「県勤労協ニュース 4 月号（地方選挙特集号）」の準備に入ったのは、投票日の翌日の 10 日からです。その時点では、「県議会会派構成（自民系が 51 議席確保できるか否か）」については『無所属議員の取り扱い』を巡って水面下での調整が始まっていた模様です。

## 『親知事派 16 議席とどまり 不信任阻止ライン割る』

編集者は 4 月 11 日の「東京新聞 首都圏ニュース」で、上記の見出しを見て驚きました。記事は以下の内容となっていました。

自民は推薦も含めて改選前の 39 議席を獲得した。自民と同じく知事と距離を置く公明は改選前の 5 議席を確保した。知事を支える第 2 会派「ふじのくに県民クラブ」系は 16 議席とどまり、議会の解散か自身の失職かを迫られる知事の不信任決議案の可決阻止に必要な 18 議席を割り込んだ。不信任決議案を巡っては、無所属の会派所属先や動向が鍵を握る。一と結んでいました。

## ふじのくに県民クラブが 18 議席確保に向け

### 佐野愛子会長を先頭に奮闘した成果が実現



上記の「東京新聞 首都圏ニュース」でも記載していた様に、「無所属議員の確保」が『自民党へ 51 議席を与えれば不信任決議案につながる』ことから、ふじのくに県民クラブも佐野愛子会長（写真左）を先頭に「ふじのくに県民クラブで 18 議席を確保」に向けて奮闘されたものと推測ができます。その結果が、静岡新聞 4 月 13 日で下記の内容で掲載されました。

## 県議選後の「県議会会派構成」

### 51 議席(知事不信任決議の可決)は困難に

4 月 9 日の県議会議員選挙が終了後、県議会の最大会派自民改革会議と第 2 会派ふじのくに県民クラブは 12 日、それぞれ改選後初めての議員団会議と議員総会を開き、4 月 13 日に締め切りとなる「会派所属議員届」について自民は 40 人、ふじのくには 18 人を事務局に届け出る方針を確認した。

ふじのくにが改選前の 17 人を上回ったことで、自民会派と公明党県議団など川勝平太知事と距離を置く勢力は、知事不信任決議案の可決に必要なとされる 51 人の確保が現時点では難しい状況となった。一と、静岡新聞 4 月 13 日が報道しましたので紹介します。

（右上図：県議会、改選後の会派構成会派と所属議員は次の通り。カッコ内は選挙区）静岡県議会は 14 日、30 日からの改選後の会派構成を発表した。定員 68 に対し、各会派の構成人数は自民改革会議が 40 人、ふじのくに県民クラブは 18 人、公明党県議団が 5 人となった。会派に所属しない無所属議員は 5 人。（静岡新聞 2023. 04. 15）公明党県議団は当選した 5 人で会派を構成する。無所属の 5 人は現時点で新会派結成の動きは見られない。

## 県議会 改選後の会派構成

会派名	現	新
自民改革会議	40※	40
ふじのくに県民クラブ	17	18
公明党県議団	5	5
無所属	4◇	5
計	66◆	68

【注】※は 12 日に無所属から 1 人が会派入り。◇は共産党を含む。◆は欠員 2

自民は公認・推薦で闘った現職 33 人と新人 5 人に、支部推薦の天野多美子氏（静岡市葵区）が加わる。改選前は会派に所属してなかった自民公認の大石健司氏（牧之原市・吉田町）の入会も 12 日に決まり、改選前の 39 人を上回った。（以下省略）

ふじのくには立憲民主党公認 2 人を含む現職 13 人に、新人 5 人が入会する。新人は引退議員の後継で立ったいずれも無所属の鈴木唯記子氏（浜松市中区）と田中昭彦氏（同）、国民民主党の中山真珠氏（静岡市清水区）の 3 人と、無所属の松井優介氏（同）、川崎和子氏（磐田市）。改選前より 1 議席増となり、2021 年参議院補欠選挙転出で欠員 1 となった議席も回復した。

佐野愛子会長は「（定数の 4 分の 1 の）17 を下回らないとの目標は達成した。会派への支持や、自民だけではいけないとの民意の結果と受け止めている」と述べました。

編集者は、佐野愛子会長をはじめ「ふじのくに県民クラブの議員団」が結束して奮闘して事が今回の 18 議席（知事不信任決議案の可決に必要とされる 51 人の確保が現時点では難しい状況となった）の確保につながったものと考えています。

選挙は民主主義の原点と言われています。しかし、数が多ければ「反対意見を無視しても構わない」という事ではありません。自民党の横暴にストップを掛けた事は今後の私たちの諸活動にも大きな自信にもつながります。佐野愛子会長をはじめとする「ふじのくに県民クラブ」の議員団へ紙上から恐縮ですが、皆様のご奮闘に感謝して大きな拍手を贈ります。（事務局長 秋山 一）

## 県議選挙投票率 44.62% 過去最低

今回の県議選の投票率は県平均 44.62% でこれまで最も低かった 2019 年の前回選挙(46.85%)を 2.23% 下回り過去最低を更新した。50% を割り込んだ市区町は 18 に上り、今回選挙が行われた 26 市区町の 7 割を占めた

市長選が同時に実施された静岡市は、葵区 46.76%（前回 48.27%） 駿河区 43.14%（前回 45.40%） 清水区 45.16 パーセント（前回 50.09%）となり、3 つの選挙区で 50% に届かなかった。

私たちの身近な市長選挙、県議会選挙において投票率が年を追うごとに低下し 50% を割ってしまうことは非常に残念なことです。地方自治にとって今後の課題は高齢化に伴う介護保険の制度充実や介護サービスの在り方、少子化対策、貧困対策、地球温暖化に伴う環境政策、財政問題やエネルギー政策など地方自治から取り組む課題は山積しています。市民の政治に対する関心を深めていかなければなりません。

## 県議選の時でも「新たなる戦前」が進行 陸上自衛隊が石垣島に駐屯地を開設

私たちが 3 月から 4 月 9 日までの間、「2023 年統一地方選挙（前半の闘い）」に日夜にわたる選挙活動を展開している時でも岸田政権は『新たなる戦前』に向けた準備を着々と進めています。今回は 4 月 4 日に東京新聞が「自衛隊南西配備 住民の懸念と向き合え」と 4 月 6 日に琉球新報が「防衛力で論戦 曖昧な説明は許されぬ」の社説を記載しましたので紹介します。

陸上自衛隊が沖縄県石垣島に駐屯地を開設し、浜田靖一防衛相が 4 月 2 日の記念式典で「南西諸島の防衛力強化は国を守り抜くという決意の表れだ」と訓辞した。

政府は南西諸島への自衛隊配備について、中国の軍事的台頭を念頭に、抑止力を強化するためとしているが、敵の基地などを直接攻撃できる長距離巡行ミサイルなどが実際に配備されれば、地域の緊張を一層高めかねない。

軍事的衝突を避けるには、軍備増強によって軍拡競争を加速させる「安全保障のジレンマ」に陥らず、緊張緩和に向けた外交努力を



尽くすことが必要だ。石垣島の駐屯地は、南西諸島の離島で 2016 年の与那国島（沖縄県）、2019 年の宮古島（同）、奄美大島（鹿児島県）に続く新設となる。

隊員の定員は約 570 人、石垣島をはじめ周辺の防衛・警備を担う「八重山警備隊」のほか、上空の標的を担う「03 式中距離地对空誘導弾」や、陸地から艦艇を攻撃する「12 式地对艦誘導弾」を運用する舞台で構成される。

軍事的台頭著しい中国が東シナ海から太平洋にかけて海洋進出を強め、台湾の武力統一の可能性も視野に入れる状況を座視し得ないのは当然である。防衛相は石垣島への陸上部隊配備により、南西諸島の防衛上の空白は解消したとしている。

ただ、地元の住民が部隊配備を全面的に歓迎しているわけではない。駐屯地が標的となって住民が戦闘に巻き込まれることへの不安や、住民の賛否が分かれる中で部隊配備が強引に進められたことへの不満は根強く残る。

沖縄は太平洋戦争末期、激しい地上戦の舞台となり、多くの県民が犠牲となった。旧日本軍が住民を守らなかったという苦い記憶は今も県民の間で受け継がれる。

ロシアのウクライナ侵攻を見るまでもなく、軍事施設が攻撃対象になるのは必至だ。岸田文雄政権が「敵基地攻撃能力（反撃能力）の保有」を容認したことを受け、巡航ミサイルなどが沖縄の離島に配備されれば、攻撃対象となる可能性はさらに高まる。抑止力を名目にした陸自部隊配備が本当に住民を守るのか、再び「本土防衛の捨て石」とされることはないのか、政府は沖縄の住民の懸念に誠実に向き合わねばならない。

## 防衛力強化で論戦 曖昧な説明は許されぬ

国会で 4 月 6 日から防衛力強化に必要な財源を確保する特別措置法案が審議入りする。7 日には防衛産業の生産基盤を強化する審議入りの見込みだ。防衛力強化を巡る論戦が本格化する。

与野党に求めたいのは昨年 12 月に政府が閣議決定した国家安全保障戦略など安全保障 3 文書を徹底審議してほしいということだ。立憲民主党など野党は安保 3 文書と特措法案をセットで政府をたぐす姿勢だ。政府も明確に答えなければならない。

この日の本会議で岸田首相は敵基地攻撃能力の行使事例について「個別、具体的に判断する」と明示を避けた。その中で「密接な関係にある他国への武力攻撃が発生した場合など武力行使 3 要件を満たす場合に行使しうる」と延べた。

集団的自衛権を行使できる「存立危機事態」でも敵基地攻撃能力の発動は可能との考えを示したものだ。岸田首相は 1 月 30 日にも同趣旨の答弁をしている。この首相発言は専守防衛を逸脱したものと云わざるを得ない。憲法 9 条はおろか、国際法違反の先制攻撃と受け取られる恐れがある。

防衛費増額もそうだ。政府は 2023 年度から 5 年間の防衛費を総額 43 兆円に増額する方針だ。政府は税外収入などで捻出し、足りない部分は増税で確保する。防衛費増額を国民は受け入れるか疑問だ。少子化対策などを優先すべきではないか。

今までのような曖昧な説明を重ねることは許されない。軍事増強の重い負担を強いられる沖縄から国会審議を注視する必要がある。

## 5月3日は憲法記念日の集会へ参加しましょう

近代の戦争で日本人は何人死んだのでしょうか。日清戦争（1894～95 年）で約 14,000 人、日露戦争（1904～05 年）では約 11 万 8,000 人とされています。その後のシベリア出兵、満州事変と、日本の戦争は際限なく続き、そのたびに死者も千人単位、1 万人単位で積み上げられました。日中戦争・太平洋戦争での戦没者は軍民あわせ約 300 万人にもなります。

## ◆血塗られた20世紀

20世紀はまさに血塗られた時代でした。日本に落とされた原爆や空襲の被害も悲惨でした。このような人類の惨状を踏まえて、1947年に施行されたのが『日本国憲法』です。

しばしば憲法は法人であると国家と国民との間で結ばれた社会契約だと説明されます。契約の第一は基本的人権の保障です。憲法97条では以下の内容が記載されています。

【日本国民に保障する基本的人権は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果であって、これらの権利は過去幾多の試練に堪へ、現在及び将来の国民に対し、侵すことのできない永久の権利として信託されたものである】

私たちが自由に生き、権利を行使できるのも、人類が多年にわたる努力の成果に他なりません。戦争はとりわけ厳しい試練でした。

「信託」という難しい言葉が使われていますが、憲法をつくった人々が、未来の人々に託したバトンです。(朝日新聞2022年5月3日より)

しかし、現在では国会では「憲法審査会」で自民党が『憲法の改悪』を強く主張するなど、平和憲法が危険な状態となっています。私たちは上記の内容で、5月3日に集会を開催します。是非とも多くの皆様のご来場をお願いします。

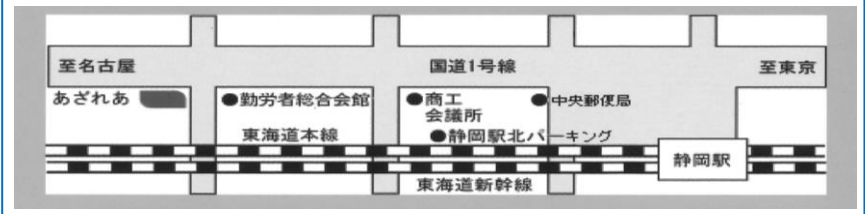
## 戦争ではなく平和の準備を 市民の視点から考える戦争と平和

### 5.3憲法フォーラム IN 静岡 憲法記念日講演会

日時 5月3日(水・祝) 13:30~16:00

会場 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」  
(静岡市駿河区1丁目17-1)

要申込 TEL.054-255-0471 FAX.054-251-4828



## ⚠️ ご注意ください!

「全労済に委託されている」  
(こくみん共済 coop)  
とかたる業者の訪問が  
報告されています。

※「共済金で代金は全額支払われる」「共済金の請求を代行する」などと言って修理の勧誘を受けた場合は、その場で契約などに応じず、当会にご相談ください。



こくみん共済 coop(全労済)では、ご契約者さまからの  
ご一報を受けないまま、電話で訪問日時などをご連絡したり、  
外部に委託して調査を行うことはありません。

### つもる話は アフター ファイブに。

働く人に便利な 2つの「相談会」。

「ろうきん」全店OPEN!  
水曜よりみち相談会  
17:00~19:00

毎週水曜日 夕方 予約優先

県内(ろうきん)の全営業店で開催中!

ローンのこと、お金のこと。  
ご相談内容が充実。

住宅ローンなど、各種ローンのご相談はもちろん、預金や個人向け国債、投資信託、個人年金保険のご相談もお取扱いします。\*2  
お金のことなら何でも幅広くご相談ください。

### はずむ話は デイ タイムに。

日曜のんびり相談会  
9:00~12:00 13:00~16:00

毎週日曜日 予約制

県内(ろうきん)のローンセンターで開催中!

週末はご家族で。  
3ローンセンターでは  
土曜日にも相談OK。

お客さまの声にお応えして土曜日相談会を開催。

土曜日開催店  
◎浜松中央ローンセンター  
◎静岡中央ローンセンター  
◎富士ローンセンター

※1 ご予約のない場合、混雑状況により当日のご相談をお受けできないこともありますので予めご了承ください。  
※2 個人向け国債、投資信託、個人年金保険のご相談は予約制となります。  
※ いずれの相談会も、一部開催しない日がございます。※依拠店舗相談センターは、日曜のんびり相談会を開催していません。

「ろうきん」が初めての方も大歓迎。ぜひお近くの「ろうきん」へ。

お近くの(ろうきん)はこちら!

スマホ版にアクセス!

いつでもあなたの目標で。

静岡ろうきん

お問合せ・ご予約は

ビザ/デのろうきん 携帯電話からでもOK!  
フリーダイヤル 平日 9:00~18:00  
0120-609-123

インターネットホームページ  
https://shizuoka.roukin.or.jp